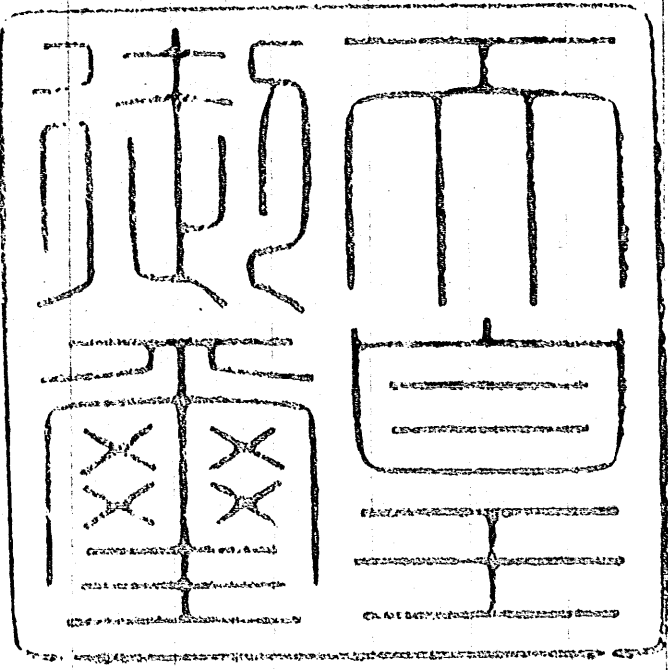


勅令第二万四千一百一十号

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ為替貯金局及  
地方通信官署職員特別任用令ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム



加仁

大正二年六月十三日

内閣總理大臣伯爵 山本權兵衛

逓信大臣 元田肇

勅令第二百四十一號

為替貯金局及地方逓信官署職員  
特別任用令

第一條 為替貯金局副事務官、逓信局副事務官及逓信副事務官ハ五年以上逓信事務ニ従事シ現ニ判任官ニ級俸以上ノ俸給ヲ受タル者ヨリ、為替貯金局事務官補、逓信局事務官補及逓信事務官補ハ三年以上逓信事務ニ従事シ現ニ判任官五級俸以上ノ俸給ヲ受タル

者ヨリ之ヲ任用スルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ任用セラレタル為替貯金局事務官補、逓信局事務官補又ハ通信事務官補ニシテ現ニ其ノ職ニ在ル者ハ之ヲ為替貯金局副事務官、逓信局副事務官又ハ通信副事務官ニ任用スルコトヲ得但シ判任官三級俸以下ノ俸給ヲ受クル者ヨリ任用セラレタル為替貯金局事務官補、逓信局事務官補又ハ通信事務官補ハ二年以

上在職スルニ非サレハ之ヲ為替貯金局副事務官、逓信局副事務官又ハ通信副事務官ニ任用スルコトヲ得ス

第三條 為替貯金局書記補、逓信局書記補又ハ通信書記補ニシテ二年以上其ノ職ニ在ル者ハ之ヲ為替貯金局書記、逓信局書記又ハ通信書記ニ任用スルコトヲ得  
郵便貯金局書記補、逓信管理局書記補又ハ通信書記補在職ノ年數ハ前項ノ

場合ニ之ヲ通算ス

第四條 為替貯金局書記補、逓信局書記補及通信書記補ハ逓信大臣ノ定ムル試験規則ニ依リ之ヲ任用スルコトヲ得

第五條 第一條及第二條ノ規定ニ依リ任用スル者ハ文官高等試験委員、第三條ノ規定ニ依リ任用スル者ハ逓信省文官普通試験委員ノ銓衡ヲ經ヘシ附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年勅令第百七十號ハ之ヲ廢止ス

現ニ逓信管理局書記官タル者ハ本令施行ノ際ニ限り特ニ之ヲ逓信局事務官ニ任用スルコトヲ得

本令施行ノ際郵便貯金局事務官タル者ハ為替貯金局副事務官ニ、郵便貯金局事務官補タル者ハ為替貯金局事務官補ニ、郵便貯金局書記タル者ハ為替貯金局書記ニ、

記ニ郵便貯金局書記補タル者ハ為替貯  
金局書記補ニ逋信管理局事務官タル者  
ハ逋信局副事務官ニ逋信管理局事務官  
補タル者ハ逋信局事務官補ニ逋信管理  
局書記タル者ハ逋信局書記ニ逋信管理  
局書記補タル者ハ逋信局書記補ニ逋信  
事務官タル者ハ逋信副事務官ニ逋信事  
務官補タル者ハ逋信事務官補ニ逋信書  
記タル者ハ逋信書記ニ逋信書記補タル  
者ハ逋信書記補ニ特ニ之ヲ任用スルコ

トヲ得